

令和5年2月1日

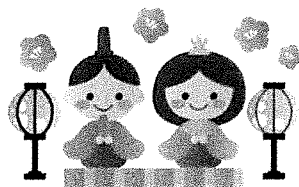
大寒も過ぎ、寒さが厳しい時期となってきましたね。今年は雪が多く、雪の大好きな子どもたちは、外遊びを楽しんでいるのではないのでしょうか。大人は、寒さで遊びに付き合うのは大変ですけどね。冬は、子どもにとって運動の質の向上や好奇心を高めるのに良い環境がたくさんあるので、短い時間でもぜひ外に出て、遊ぶ時間を作るようにしていくとよいですね。先月に雪で遊ぼうという行事がありました！遊びに来てくれた子たちは在園している子たちと一緒に楽しく遊んでいました！

## 2月の予定



- 3日（金） 豆まき・読み聞かせ  
15日（水） 誕生会・身体測定  
20日（月）～24日（金） ひな人形制作

## 3月の予定



- 3日（金） ひな祭り・読み聞かせ  
13日（月） 誕生会・身体測定  
※20日（月） 園の行事によりお休み  
※27日（月）～4月3日（月）  
年度末業務の為に休み

\*お問い合わせ先 子育て支援センターなかよし  
0125-74-4890

## 「言葉による伝え合い」はどう育つ??

人間のコミュニケーションは、言葉が始まってからスタートするのではなく、生まれた時からすでに始まっています。それぞれの時期に必要な大人の関わり方についてお伝えしようと思います！

### ○赤ちゃんの働きかけに答えよう！（0歳～）

赤ちゃんは鳴き声とクーイング（「アー」「ウー」等の発声）を経て豊かな音声を発出できるようになります。また、赤ちゃんは多様な声を出すだけでなく、聞き分けもして、周りの人とのやり取りの中で、次第に聞いている言語の音声に合わせた音節や周囲の音に特化した発声をするようになっていきます。赤ちゃんなりにも考えて試し、返ってくる反応を受け取ってまた試しています。赤ちゃんの喃語は、赤ちゃん自身の遊びであると同時に、周囲へのアプローチです。たくさん話しかけてくれる赤ちゃんにもっと応えて、大人も一緒に楽しむ時間を作っていけると良いですね！

### ○「これなあに？」というコミュニケーション

1歳後半から2歳くらいになると「これなあに？」が始まります。やがて、「なんで？」「どうして？」と質問もするようになりますが、子どもは必ずしも正解を求めているわけではありません。物の名前を知りたいということに加えて、自分の問いかけに大人がどのような反応や説明をしてくれるのか、というやり取りのおもしろさも重なっています。大人は子どもに言葉を覚えて話せるようにするのではなく、子どもと楽しい関わりが出来ているか、また、子どもが面白いと思うことを探求していくことができているか、というところにポイントを置いてコミュニケーションをとってみると良いかもしれませんね！